

令和6年宮崎県農業産出額に係る知事コメント

12月23日に農林水産省から令和6年の農業産出額が公表され、本県は昨年より5億円増加し3,725億円で、全国順位は第7位でした。平成2年の3,745億円に次いで過去2番目の産出額であり、農業者の皆様のこれまでのたゆまぬ努力に敬意を表します。

本県はこれまで、全国有数の食料供給基地として発展してまいりましたが、農業を取り巻く環境は、担い手の減少など構造的な課題に加え、頻発する自然災害や物価高騰への対応など、厳しい状況が続いております。

そのような中、国では、本年4月に新たな「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、食料安全保障の確保に向けた国内の農業生産の増大など、農業の構造転換を集中的に進めることとしており、我が国を代表する食料供給基地である本県の果たす役割はますます重要になると考えております。

そのため、県では、来年度から新たにスタートする「第八次宮崎県農業・農村振興長期計画」の後期計画の中で、農地の区画拡大など効率的な生産基盤の整備や生産性を高めるスマート農業技術の導入拡大を進めるとともに、家族経営体の営農継続をサポートする農業支援サービス事業者の育成などを重点的に推進することにより、「持続可能な魅力あるみやざき農業の実現」に向けて、しっかりと取り組んでまいります。